



陸小だより

発行：令和3年1月22日（第23号／文責：陸別小学校長 桜井 紀夫）

まとめの52日間 進級・進学へ！

～3学期がいよいよスタート～



明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。

本年も子どもたちの可能性のカギを開くために全力を尽くしてまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和3年1月 陸別小学校職員一同

1月7日（木）、9日ぶりに校内に子どもたちの明るい歓声と笑顔が戻ってきました。この間、事故やけがもなく、元気に始業式を迎えることができたことをとても嬉しく思います。

冬季休業が終了し、3学期の授業日は約52日間となります。例年と同様に学校や子どもたちにとって大きな変化へのアプローチの期間でもあります。コロナ禍の慌ただしく厳しい状況ではありますが、振り回されることで学校教育の本質を見失わないよう、子どもたちとともに着実に歩んでまいります。今学期も、保護者、地域の皆様の期待に添えるよう全力で進んでいきますので、どうぞよろしく申し上げます。

さて、昨年末嬉しい話題がありました。小惑星探査機「はやぶさ2」が52億キロの長旅を終え、無事帰還したことです。しかも、地球に届けられたカプセルから小惑星「リュウグウ」の砂等を持ち帰るとい世界初の快挙も成し遂げられました。持ち帰った物質を分析することで、太陽系の成り立ちや生命誕生の謎に迫れるのではないかと期待されています。

こういった研究は、早急な製品化や実用化、商業的な利益を主な目的とせず、自然界の仕組みを追求し、ものごとの本質や原理の追究を目的とした「基礎研究」と言われています。知識欲や好奇心から生じるものと考えられ、商業的な価値や今すぐ役に立たないものも数多くあるようです。

これらは、学校の勉強でも同じことが言えます。学習には、すぐに役立つものもあれば、今ではなく将来役立つものもあります。しかし、学んだことは力となり、学習の基礎・基本として必ず役立ちます。（習った漢字を長い間使わなくても、思い出します。いざ使うときに習っていない漢字は分からず、すぐに使うことができません。）

学習の成果や基礎・基本は、半年後、1年後、数年後に必ず生きてくることや実を結びことも多くあります。陸別小学校では、子どもたちの未来のために、毎日の学習や基礎・基本を大切に授業づくりを今年も継続します。よろしく申し上げます。

修学旅行今度こそ実施！

2度の延期の末、3度目の正直で「修学旅行」を実施します。2月4日（木）～5日（金）の日程で、紋別方面へ出かけます。ここまで、6年生には多くの我慢をさせてしまい本当に申し訳なく思っていますが、今度こそ実施したいです。保護者説明会も開催し、旅行の詳細を確認しました。1年の中で一番寒い時期での行事となりますが、ここ陸別では体験できないアクティビティを楽しみましょう。今回の一番の目玉は、「ガリンコ号」の乗船です。この時期にはきっとたくさんの流氷も着岸しているはずですので、寒さ対策をしっかりとって楽しんでいきましょう！

1月14日（木）～ 「保小連携」の一環で小 学校教員の「保育所訪問」

陸別町では、小中一貫教育と同等に、保小連携教育も推進しています。それぞれの教育活動を見学しながら、必要な情報交流でお互いの理解を強めています。



連日のように新聞報道等で、新型コロナ関係の記事を目にします。世界ではワクチンの接種も始まっていますが、その効果や副作用等についてはあまりよく知られていません。日本でも、できるかぎり来月下旬までにワクチンの接種を開始できるよう、政府として準備を進めていく考えを表明しました。何かと終息への明るい光が見えてきたような……？。それまでは、感染予防対策を継続していかなければなりません。引き続き、毎日の検温と体調チェック、そしてマスク着用、手指消毒、3密を避けるなどの取組をよろしくをお願いします。

今年度から「通知票・あゆみ」の発行回数を年2回としました。学習指導要領の改正が主な理由です。しかし、これまで同様に1学期・2学期・3学期の学期はそのままです。通知票の発行回数を変更しただけですので、お知らせいたします。

これからの行事予定

月	日	曜	行 事
1	22	金	活動委員会 英検
//	27	水	バルーンマンション体験作業（5年）
//	28	木	漢検
2	1	月	交通安全日
//	4	木	修学旅行（6年）紋別方面 ～5日
//	11	木	祝日（建国記念の日）
//	12	金	新入学児童説明会
//	13	土	数検
//	15	月	交通安全日 6年体験登校（中学校）②
//	17	水	職員会議（年度末反省①）スキー場雪遊び（2年）
//	18	木	職員会議（年度末反省②）
//	19	金	研修日
//	23	火	祝日（天皇誕生日）
//	25	木	児童会役員選挙
//	26	金	活動委員会